令和５年度　学校経営の全体構想

中津川市立坂本中学校

【岐阜県教育ビジョン・方針と重点】

◆ふるさとに誇りをもち、「清流の国ぎふ」を担う子どもたちの育成

- いじめ、自殺等未然防止
- 不登校支援体制の強化
- 部活動の地域移行

【 校　訓 】

「一意力行」

～心を集中し、
皆の心を合わせ、
力を込めて行う～

【中津川市 教育の方針】

「よりよいひとりだち」

～ 生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成 ～

- 機能する組織
- 面倒見のよい先生
- 身につくまで

【学校の課題】

1　基礎基本の定着と学ぶ意欲及び思考力・表現力の育成

2　多様性を尊重し、仲間と協力し大切にする人権感覚の醸成

3　目標をもって最後まで粘り強く物事に取り組む態度の育成

4　仲間のよさや自己の成長を評価する力の育成

【学校の教育目標】

自主（自ら進んで行う生徒）

協力（責任を果たす生徒）

創造（鍛え合う生徒）

【願う生徒の姿と支援】

○自分勝手やわがままをおさえて、仲間と協力して生活することができます。
○人を差別することなく、誰とでも暴動に接することができます。

△活動の意味を教え、どんな自分になりたいか願いをもたせ、指導しきることで、確実に成長させます。

【学校経営の中核】　坂本中学校は　生徒の願いを大切にし「夢」を育みます

【目標実現のための指標】

◆学校が楽しい　９５％
◆自分にはよいところがある　８０％
◆自分のことが好きである　８０％
◆先生はわかりやすい授業をする　９５％
◆先生や仲間は自分の話を聞いてくれる　９５％
◆貸出冊数　１３冊

【指導の重点】　【 学力定着・体力保証 ／ 自己肯定感・自己有用感の高揚 ／ 不適応・不登校支援 】

〔学習指導〕
◇授業・力行タイム
◇研究推進による授業改善
◇読書教育
・教科部会による授業改善
・自主学習の工夫改善
・図書館教育賞への応募

〔生活指導〕
◇生活のルール
◇いじめ未然防止・組織対応
◇清掃活動
・安全な登下校、あいさつ
・心のアンケートの実施
・黙々と取り組む清掃

〔健康安全指導〕
◇いのちの教育
・自他を大切にする心
◇給食指導
・委員会活動を通した食育
◇健康な体と体力づくり
・自身の課題を捉えた活動

〔特別活動指導〕
◇学級経営
・居場所と絆づくり
◇生徒会活動
・日常生活の向上と地域貢献
◇体育祭・合唱祭
・自分磨きと仲間との絆

〔キャリア教育「夢を育む活動」〕　１年「身近な人の職業」→２年「職業体験」→３年「研修旅行」　３年間を通した「職業講話」
地域ボランティア（地域夏祭り、区民運動会など）　夢講話（外部講師の活用）　体験活動（高校出前講座の活用）

〔経営の柱となる会議〕（チームワーク）
◆学年主任会（月の３時間目）・・・学年間の連携と指導方針の共有
◆個別支援委員会（金の３時間目）・要支援生徒の支援策の具体化
（支援のサイクル　プレ個別→個別支援会議→主任会）
◆研究推進委員会・・・教師の授業力（専門教科、道徳）向上
◆ICT教育推進委員会・・ICT機器を活用した授業の推進、情報モラル

〔経営を支える連携〕（ネットワーク、フットワーク）
◆学校運営協議会（坂本地区未来の学校づくり応援団）
◆小学校・こども園・麦の穂学園との連携
※主幹教諭を核として組織をつなぐ
◆地域の関係組織、PTAとの連携　※教頭を核として組織をつなぐ
◆積極的な情報発信・・・ホームページ、学校だより、学年通信等

＜坂本中が目指す教師＞　目標を共有し、仲間と笑顔で子どものためにやり抜く教師

《熱意》「身につくまで」
★定着の見届け　師弟同行
～できたという実感まで～
★家庭・地域との連携
～願いを共有し、共に喜び合う～

《誠意》「心に届くまで」
★共感的な教育相談姿勢
～共に感じる姿勢（喜び・悲しみ）～
★研ぎ澄まされた人権感覚
～教師が最大の言語環境となる～

《協働》「全職員で」
★情報の共有と動きの連動
～共通理解に基づく共通行動～
★校務分掌の自覚
～役割を理解し、自ら動く～

＜心身共に健康で、やりがいを実感できる職場作り＞　働き方改革の推進

○労務管理の徹底　○業務改善の断行　○メンタルヘルス（一人で抱え込まず組織で対応）
※知恵を出し合い勤務の適正化を推進する。教職員一人一人のタイムマネジメント能力の向上を図る。